

日本が世界に誇る
山・鉾・屋台行事



270年祭



幻想と興奮、 現代に甦る 歴史絵巻



新庄まつりは藩政時代の宝暦6年（1756年）、藩主戸澤正誼公が、前年の大凶作でうちひしがれている領民に活気と希望を持たせ、豊作を祈願するために、氏神である城内天満宮の「新祭」を領民をあげて行ったのが起源とされています。270年の歴史を持つまつりの中でいくら歳月を重ねても変わらなかったものは、人々のまつりにかける情熱です。豪華絢爛を競う山車行列にお囃子、古式ゆかしい神輿渡御行列、新庄城址で踊られる風雅な鹿子踊。藩政時代を想起させる歴史絵巻が繰り上げられる新庄まつりは、この地に住む人々の心の風景に刻み込まれ、これからも未来に伝えられていきます。勇壮にして華麗な3日間、囃子の響きがまちを包み込み、新庄の夏はまつりの興奮と熱気でフィナーレを迎えます。

ユネスコ無形文化遺産

新庄まつり山車

新庄まつりでは山車と書いて「やたい」と呼んでいます。町衆は若連という組織を作り、毎年町内単位で山車を作ります。



題材は能・歌舞伎や歴史物語・伝説などから選び、等身大の人形を中心に、山・館・花・滝などを配します。運行する山車は毎年作り変えるのが特徴であり、新庄駅やふるさと歴史センターに展示される山車以外はすぐに解体されるため、その年の山車はまつり期間中にしか見られません。

新庄まつり囃子

山車の後方には囃子若連が付き、大太鼓・小太鼓・笛・鉦・三味線で構成されます。4曲ある曲目のうち一般に演奏されるのは、悠長で哀調のある宿渡り（すくわたり）とテンポの速い勇壮な羯鼓（かっこ）です。また囃子の演奏技術はそれぞれの地域の秘伝であり、楽譜ではなく口伝のため、それぞれ少しずつ異なった調子で演奏されます。



エチオピアで行われたユネスコ政府間委員会において、平成28年12月1日「新庄まつりの山車行事」は全国33の「山・鉾・屋台行事」のひとつとして山形県内初のユネスコ無形文化遺産への登録が決議されました。

神輿渡御行列

天満宮の御神体を市中の上手から下手へ町々を巡行させ、人々の平安を護ってもらう行列です。新庄城址を出発した総勢200名の行列は、御先手がかける「下におろう、下におろう」の声のもと、市内を一巡して城址に戻ります。足軽の息のあった足さばきや傘廻しの妙技、熊の積毛を持つ伊達衆の演技をはじめ、天狗、神輿など数多くの見どころがあります。



24日㊦ 宵まつり

戸澤神社例大祭 午前10時 戸澤神社

奉納 新庄囃子
午前8時10分 戸澤神社・天満宮・護国神社

新庄囃子合同演奏会
午前9時30分～11時 新庄駅前ふれあい広場アビエス



灯入式 午後6時～6時20分 中央通り交差点

宵まつり山車行列（全20台）
午後6時30分～8時30分
中心商店街～新庄駅前ふれあい広場アビエス



25日㊦ 本まつり

天満宮例大祭 午前7時 天満宮

まつり行列出発式 午前8時30分
天満宮前広場

神輿渡御行列
午前9時 最上公園出発～9時45分頃 新庄駅前ふれあい広場アビエス～市内各所～午後3時 石川町ごきげん通り～午後3時45分 最上公園到着



本まつり山車行列（全20台）
午前10時 旧老人福祉センター前出発～10時40分頃 新庄駅前ふれあい広場アビエス～市内各所～午後2時頃 本町通り～午後4時頃 三本橋南側交差点



26日㊦ 後まつり

護国神社例大祭 午前9時 護国神社

小若連囃子演奏会
午前9時30分～11時30分 ゆめりあ「花と緑の交流広場」

奉納 柔道大会
午前8時30分～午後1時 新庄東高武道館

奉納 弓道大会
午前9時30分～午後4時 東山武道館

奉納 鹿子踊
午前10時～11時 最上公園



飾り山車（全20台）
午前10時～午後4時 駅前・本町・大町・中央通り



街中鹿子踊 午後1時 南本町十字路

手締式 午後3時30分 南本町十字路

まちなかカラオケ
エキサイティングショー
午後5時30分～8時30分 きらやか銀行駐車場

※行事日程は変更になる場合があります。

新庄開府400年・新庄まつり270年祭記念事業

直木賞作家今村翔吾先生プロデュース
羽州ぼろ鳶組ダンスパレード
日時：8/24夕方
場所：中心商店街～駅前五差路交差点

抽選で景品プレゼント！
新庄まつりデジタルスタンプラリー
新庄まつりゆかりの場所を巡るスタンプラリー新庄市観光デジタルマップよりご参加ください。8/1～8/31まで

